

上昇や災害時の長期停電リスクを軽減する最新設備をアビビルし、ビルの競争力を高める。

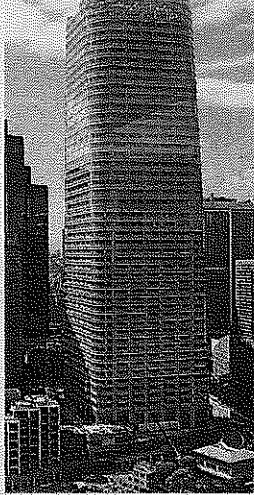
非常時、専有部も電力確保

森ビル

森ビルは虎ノ門・六本木地区で開発中の大規模複合ビル「アークヒルズ 仙石山(せんごくやま)森タワー」に、都市ガス85%、オフィス専有部に電力を供給できるアークヒルズにもテナントに電力を供給できるアークヒルズ

非常時に電力を供給できる大型の非常用発電機を2基装備し、平時は東京電力から受電し、停電時にこの発電機を作動させる。ビルも壊れにくい導管を引く。東電の停電が復旧するまで代替となる電気を作り続けることができる。

同社によると、停電時に共用部の電気を自家発電するビルはあるが、都市ガスで電気を作ってテナント専有部にも十分な電力を供給し続けるのはまだ珍しいという。



照明・温度 細かく制御

三菱地所・住友不動産

8月下旬にオフィス部に導入される三菱地所市ガスで電気を作ってテナント専有部にも十分な電力を供給し続けるのはまだ珍しいという。

三菱地所はこのほか、15日に着工する日本橋茅場町のビルを環境モデルビルと位置付け、使用エネルギーを約45%削減できる設備を導入する。人

景況、3期ぶり改善

都内4〜6月 食品・繊維けん引

東京財務事務所が11日発表した4〜6月期の法人企業景況予測調査によると、都内企業の全産業の景況判断指数(BSI)は、前回調査に比べ0.6ポイント上昇のマイナス5.1と3四半期ぶりに小幅改善した。個人消費の回復を背景に食料品など一部の製造業がけん引した。ただ先行きは「足元の円高や株安で経営環境は厳しくなりそうだ」と予測する。

製造業はマイナス5.4と6.1ポイント改善した半面、非製造業はマイナス4.9と1.3ポイント悪化した。規模別では大企業や中堅企業の景況感が若干良くなったが、中小企業は低水準が続く。

個別では食料品や繊維、化学などの景況感が良くなったほか、東京スライムリ効果で宿泊を含むサービス業も回復。一方でテレビの不振が続く。

7.8%増の見通し。環境対応車の販売が好調な自動車などが好調だ。ただ、この統計は5月15日に調査。その後、円高や株安が加速し、「全体の景況感が悪化している」と答えた企業の割合から「下降」と回答した企業の割合を差し引いて算出する。都内企業3658社から回答を得た。

都内夏ボーナス 2.24%減 妥結額中間集計

東京都は都内労働組合の2012年夏季一時金要求・妥結状況について中間集計結果をまとめた。既に妥結した279組合の平均妥結額は70万4341円と前年に比べ8.4円(37.8%)の26カ月分に相当する。業種別にみると、分析対象(5組合以上)となった20業種のうち、印刷や私鉄・バスなど12業種が前年実績を下回った。一方、宿泊・飲食サービスや卸売・小売りなど8業種が上回った。

平均要求額(集計可能な391組合対象)は前年比1.85%減の74万7062円だった。

緑化で近所連携 15万円上限補助 豊島区が新制度

東京都豊島区は今年度、近所同士で連携して緑化を進める区民を対象とした補助制度を創設した。3軒以上の区民が道路沿いに樹木などを植える場合、15万円を上限に補助する。近所付き合いをベースにした補助制度は珍しいという。

区によると、同区の1人当たり公園面積は東京23区内で最も小さい。オフィスや住宅が密集し、緑地の確保が難しいこと

都、民間出身90人を採用

東京都は民間企業の勤務経験者を中途採用する「都職員キャリア活用採用」の選考を始めた。公金の運用担当として金融機関や証券会社で資金運用をしていた人材などを採用する。今年度の採用予定者は約90人。うち公金の運用や財務など事務系職種は計約20人。有能な人材の民間での経験を都政に生かす狙い

今年度の選考開始

公金運用担当の場合は証券アナリストや国際公認投資アナリストの資格がなければ専門試験を免除する。ほかに、中小企業への制度融資などの立案担当者として公認会計士や中小企業診断士も募集する。郵送での応募締め切りは7月3日まで。

同選考の特徴は「試験前から採用後に配属する課を明確にしている点」(都人事務委員会事務局)だ。証券アナリストを財務局主計部公債課などに、公認会計士を産業労働局金融部金融課などに配置し、民間企業などでの専門的な知識や実績を生かせるようにする。8月に採用試験が始まり、11月に結果を発表する。勤務は来年4月から。都は2009年度から同様の選考を開始し、3年間で民間から計230人を採用した。

金融など専門家活用

から採用後に配属する課を明確にしている点」(都人事務委員会事務局)だ。証券アナリストを財務局主計部公債課などに、公認会計士を産業労働局金融部金融課などに配置し、民間企業などでの専門的な知識や実績を生かせるようにする。8月に採用試験が始まり、11月に結果を発表する。勤務は来年4月から。都は2009年度から同様の選考を開始し、3年間で民間から計230人を採用した。

高級豚TOKYO-Xの料理 多摩のご当地グルメに

青梅市、福生市など多摩地区のうどん店やそば店が青梅生まれの高級豚肉「TOKYO-X」を使ったメニューを、ご当地グルメとして売り出している。今後は、店舗マップを作り、地域の新しい名物料理として定着を目指す。

考察したのは青梅市のそば店「津久茂」。店主は「地元生まれの食材を生かしたかった」と話す。昨年10月にTOKYO-Xを載せたうどん、そばを「肉なんば」として提供したところ評判を呼んだ。今年5月には他店舗と共同で地域のB級グルメ大会に出展。来場者の人気投票で1位を獲得した。現在は約20のうどん、そば店が独自メニューを提供する。価格は1品800〜1000円程度。

TOKYO-Xは1997年に青梅市の旧東京都畜産試験場(現・東京都農林水産振興財団)で開発された。

経営・技術ノウハウ 技術同友会が 都内中小に助言

産官学のOBでつくる技術同友会(東京・千代田)は東京都内の中小企業向けに経営や技術を助言する事業を始める。現場で培ったノウハウを伝えたり、研究者の人脈を紹介したりする。今秋までに約90人の会員から選抜して中小企業に派遣する。

同会は1972年設立の任意団体。元住友電気工業副会長の中原恒雄

地域情報ヘッドライン

日経電子版紙面ビューアーから

北海道 日糧パン、長期保存パンで本州開拓

東北 岩手県、災害公営住宅5300戸建設へ

静岡 リゾートのつま恋、愛犬と宿泊可能に

中部 愛知運送、クラウド利用で物流進化

中国 日東製網、漁網生産でタイ進出

九州 ハウステンボスにカジノ構想

▶朝刊・夕刊→地域経済(有料会員向け)

東京

車機構造

電子版で全国の地域経済面が読めます。

地名は支店長(7月1日) 神尾 古川良雄

下町は時代と共に範囲を広げた

高の和装 白公好